

授業概要

ドイツ語の初歩を学んだ上で、さらに踏み込んだ文法事項を学び、少しずつ文章を読む練習もする。初級と中級合わせて「独検」4級程度の文法を学ぶことになる。前置詞、話法の助動詞、分離・非分離動詞、形容詞、再帰代名詞くらいまでを練習を交えて講義する。*新型コロナウイルスの影響で初級の授業の進度がオンラインを併用する場合などは遅くなることが予想されます。この授業は初級が終わったところから始めるので以下の計画とは大きくずれる可能性があります。

授業計画

第1回	ガイダンス・第6課 前置詞① 2格3格4格支配
第2回	第6課 前置詞② 3・4格支配
第3回	第6課 前置詞③ 融合形など
第4回	第7課 話法の助動詞・未来形① 話法の助動詞
第5回	第7課 話法の助動詞・未来形② 未来形など
第6回	第8課 分離・非分離動詞① 分離動詞
第7回	第8課 分離・非分離動詞② 非分離動詞
第8回	第8課 分離・非分離動詞③ 長文など・小テスト(時期は変更あり)
第9回	第9課 形容詞① 弱変化・混合変化
第10回	第9課 形容詞② 強変化など
第11回	第9課 形容詞③ 序数詞など
第12回	第10課 再帰代名詞・再帰動詞① 再帰代名詞
第13回	第10課 再帰代名詞・再帰動詞② 再帰動詞など
第14回	第10課 再帰代名詞・再帰動詞③ 長文など
第15回	第11課 接続詞など(要点のみ)
第16回	期末試験(筆記)

到達目標

ドイツ語の初等文法の3分の2程度を学び、それに応じた話す・書く・読む力を身につけることができる。

履修上の注意

原則ドイツ語Ⅰを履修した人が望ましい。15分過ぎたら遅刻とする(遅刻は0.5回出席とする)。全授業回数の2/3以上の出席が期末テスト受験の前提となる。

予習・復習

辞書を引いて予習してくるよう。

評価方法

小テスト 10%、期末試験 90%。

テキスト

- ・教科書名：『ヴィッテンベルクでドイツ語』（改訂版）
- ・著者名：柴田・寺尾・西口
- ・出版社名：同学社
- ・出版年（ISBN）：初刷は2015年(978-4-8102-0885-6)